

みずほオートリース通信

2025年 3月号

融雪剤で車がサビる！？

サビが原因の故障はメンテナンス対象外です

3月とはいえまだ降雪に対する注意が必要な時期です。降雪地域では道路に「融雪剤」を撒くことで安全に走行しやすくすることが一般的ですが、融雪剤の混ざった車の汚れを放置すると、サビの原因となってしまいますのでケアが必要です。

一般的に、メンテナンスリースでは、車の経年劣化（塗装・メッキの劣化、シートなど内装のへたり、など）と同様にサビやサビに起因する故障はメンテナンス対象外となっています。

<融雪剤とは>

融雪剤の主成分は「塩化カルシウム」で、見た目は白く粒状です。雪を溶かして除雪しやすくするとともに、凍結防止効果もあります。一方、融雪剤が混ざった水分が車に付着すると、車のほんの小さなキズでもそこからサビが進行していきます。排気マフラーに腐食があると程度により車検不適合となる場合もあります。



<日常のケア>

融雪剤の撒かれた道路を走行した後は、その都度洗車するのが理想ですが、出来れば2週間に1度、少なくとも1か月に1度は洗車することをお勧めします。

高圧洗浄機を利用してタイヤハウスなど下回りの汚れを洗い流すと効果的です。また、少々費用は掛かりますが、冬季の終わりには専門店で車をリフトアップして洗車することにより、サビに起因する故障を未然に防ぐことができます。



お客様へのお願い

今回はサビを防ぐためにお客様にご留意頂きたい車両のケアをご案内しましたが、日常でも安全の為に「運行前点検（始業点検）」の励行をお願いします。運行前点検は道路運送車両法で運転者の義務とされています。運転者の安全の為、また異常などの早期発見の為にも運行前点検を励行していただき、異常を感じたらすぐに指定工場へお申し出ください。運行前点検の点検項目は、メンテナンスリース契約の車両をご納車の際にお渡ししております「メンテナンスガイドブック」をご参照ください。

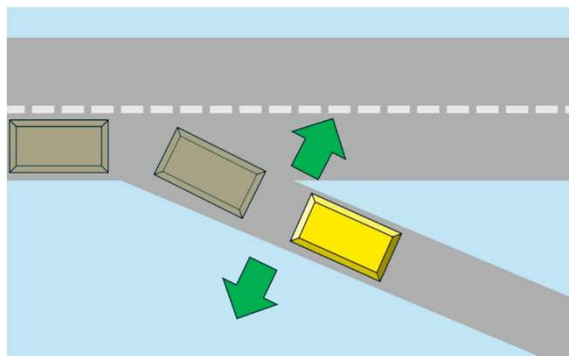
ウインカーの出し方に迷ったことはありませんか？

右なの左なの？どちらが「正解」？

側道からの合流など、浅い角度の道路から別の道路に出る時、ウインカーを右か左かどちらに出せばいいのか迷うことはありませんか？

どのように判断すればいいのでしょうか。

こうした状況での判断ポイントは、侵入する自車の動きが「合流」にあたるのか、「交差点の左折」にあたるのかという点のようです。



判断基準は「合流」と「交差点」の違い

まず「合流」とはどのようなことを指すのでしょうか。

高速道路のインター乗り口やSAの出口から本線に入る時や、側道から一時停止しないで本線に入る時などが合流です。この合流では入りたい本線と同じ方向に進んで「車線変更」を行うのと同じことですので、自車の行きたい方向のウインカーを出します。右に本線があるなら右です。



一方、「交差点」はどうでしょう。信号が設置されていたり、「止まれ」の標識や停止線が設置されている場合、その場所は「交差点」といいます。交差点では、道路が斜めに接続しているといった形状の違いは関係なく、「左に曲がる＝左折」の動きになるので、ウインカーは左に出すことになります。

警察でも「停止線があるかどうか」が判断基準になる」との見解を示しているようです。

いずれにせよ十分に周囲を確認して「安全運転」を心がけるようにしてください。

画像、出典：くるまのニュース 「ウインカー」 右なの左なの？ どちらが「正解」？ 判断に迷う「斜め接続道路」での“合図”... 決め手は「自車の動き」か <https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/kurumanews/trend/kurumanews-866558?redirect=1>

みずほリースグループのEVソリューションのご案内

EVO^{マル}っと[®]

EV導入は単なるガソリン車両からの入替えではなく、お客様毎に最適な運用、充電管理、エネルギーマネジメント等が必要となります。

みずほリースグループでは「EVOっとサービス（読み：イーブイ・マルっとサービス）」を通じて、お客様の課題に対してワンストップのサービスをご提供いたします！

詳しくは弊社営業担当者にお問い合わせください。